

成28年度 学校評価実施報告書

学校番号 94

学校名 千葉県立松尾高等学校

課程名 全日制の課程

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果をふまえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>① 学校ホームページについては、SGHの取組と校長通信「きちかう」の2つのブログを立ち上げ、毎日のように学校の取組を発信した。また、携帯メールを使用して文化祭や体育祭などの学校行事や定期試験だけでなく、修学旅行や海外フィールドワーク中の状況をリアルタイムで保護者に情報提供した。保護者による学校評価アンケートでは「松尾高校の教育方針を、理解している」が79.9%で、前年度に比べ6.2%増加した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>② 保護者による学校評価アンケートでは「松尾高校に入学させてよかった」が84.3%で、前年度に比べ1.4%増加した。また、生徒では75.9%で4.0%増加した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>③ 国内大学との連携は12回、海外大学との連携は2回、地元自治体との連携は19回、企業や海外機関等の連携は46回実施した。しかし、保護者による学校評価アンケートでは「松尾高校のSGHの取組は、有意義で、充実している」が61.2%で、前年度に比べ3.1%減少した。SGHの対象でない3学年も加えてアンケートを行ったためであるが、改善の必要がある。</p>	<p>① SGHの取組については、コンテンツの整理を行うとともに、英語版の充実を図り、海外との交流に役立てる。携帯メールについては、各学年で発信し、利便性が高まるように、体制を整える。</p> <p>② 今後も一層満足度が向上するように、各取組、学校行事、授業の質を向上させていく。加えて、学校の教育活動についての理解を深めるため、積極的に発信していく。</p> <p>③ 大学や地元自治体との連携について、回数を多くするだけでなく、全校生徒を対象にSGHの取組を計画的に実施し、SGH通信を定期的に発行していく。</p>
学習指導	<p>① 生徒による学校評価アンケートでは「授業がよく理解できる」が68.8%で、前年度に比べ0.1%減少した。したがって改善の必要がある。</p> <p>② 授業公開を4回、アクティブラーニングに関する研修を含め校内研修を8回実施した。また、今年度から英語拠点校として近隣小中学校にも声を掛け、英語の公開授業と研究協議を実施した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>③ 今年度から3年生のカリキュラムに国語と数学で学び直しの選択科目を設置し、合計37人が受講した。また、年間5回の業者テストを実施した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>④ 課題発見力やコミュニケーション力等の資質・能力を図るアンケートを実施し、学習評価の基準となるルーブリックを作成した。また、ベネッセのGPS-Academicを全校生徒に受検させ、批判的思考・協働的思考・創造的思考について評価した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p>	<p>① 生徒のニーズや特性に合わせて指導する、基本的な知識や技術については丁寧に指導するように各職員に指示した。</p> <p>② SGHとして来年度も多くの視察を受け入れ、公開授業等を実施する。そして、本校が取り組んでいる先進的な課題研究や学び直し、英語教育の取組を全県下に普及させていく。</p> <p>③ 今年度の成果を踏まえ、生徒一人一人の習熟度に合わせた学び直しのカリキュラム開発に、今後も取り組んでいく。</p> <p>④ 定期的にルーブリックを活用した学習評価を実施し、生徒の変容を数値で示す。また、ベネッセのGPS-Academicを全校生徒に受検させ、批判的思考・協働的思考・創造的思考について、経年変化を比較し、評価していく。</p>

生徒指導	<p>① 月1回服装指導を、学期に4回ずつ登校指導と校外指導を実施した。また、保護者による学校評価アンケートでは「服装・頭髪についての指導が適切に行われている」が88.2%で、前年度に比べ0.6%増加した。また、生徒の94.9%が適切であると評価した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>② 面接週間を2回実施し、外部講師を招へいし、生徒理解やコーチング等について職員研修を実施した。また、学年主任と養護教諭、スクールカウンセラー、教頭が問題を抱える生徒について毎週意見交換を行う場を設けるなど、教育相談体制を整えた。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>③ 各学年が合計3回地域清掃活動を実施し、概ね目標を達成することができた。</p>	<p>① 来年度も引き続き適切に服装指導、登校指導、校外指導を実施する。</p> <p>② 来年度も引き続き養護教諭とスクールカウンセラーを中心とした教育相談体制を整え、外部機関と連携し、教育相談の充実に取り組む。</p> <p>③ 来年度も地域の清掃活動やボランティア活動に取り組み、生徒の道徳的意欲や実践力を高めていく。</p>
キャリア教育	<p>① 1年生は総合的な学習の時間を2単位に増やした。そして、総合的な学習の時間を使い1年生29回、2年生21回、3年生12回キャリア教育を実施した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>② 今年度、夏季休業中に、SGHの取組とリンクさせ、1年生全員163名がインターンシップを行った。また、2・3年生は48名がインターンシップに参加した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>③ 外部講師を招へいして実施した進路説明会を1年生は9回、2年生は7回、3年生は7回実施した。また、生徒による学校評価アンケートでは「進路について熱心に指導してくれる」が83.1%で、前年度に比べ3.7%増加した。保護者は「適切な進路指導が行われている」が72.5%で、1.0%増加した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p>	<p>① 総合的な学習の時間を活用し、一層充実したキャリア教育に取り組んでいく。</p> <p>② より多くの生徒がインターンシップに参加するとともに、SGHの課題研究の取組を充実させ、生徒の資質や能力の向上を図る。</p> <p>③ SGHの取組と協働し、一層充実したキャリア教育に取り組む。</p>
特色教 育活 動	<p>① 国内大学との連携は12回、海外大学との連携は2回、地元自治体との連携は19回、企業や海外機関等の連携は46回実施した。特に、1年生の総合的な学習の時間に地元自治体や企業、合計24機関と連携し、地域フィールドワークを実施した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>② 福祉コース選択者は2年生が12名、3年生が6名である。3年生全員が介護職員初任者研修を修了することができた。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>③ 部活動加入率は94.0%で前年度に比べ2.7%増加した。また、生徒による学校評価アンケートでは、部活動に対する満足度が71.1%で、前年度に比べ1.6%減少した。しかし、保護者の75.2%が充実していると回答し、4.6%増加した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p>	<p>① 来年度は、3年生もSGHの対象学年となり、文部科学省に当初提出した構想調書に示した全ての取組を実施する。また、文部科学省が中間評価を行うので、学校全体で3年生の取組を計画的に実施し、日本一のSGHを目指す。</p> <p>② SGHの取組と福祉コースの取組が協働して、一層充実したものになるように計画的に取り組んでいく。</p> <p>③ SGHの取組を行う部活動を立ち上げて職員の服務の問題を解消するなど、SGHの取組を一層充実させる。</p>

(第3号様式-2)

<p>学校評価の公表について (手段・時期・内容等)</p>	<p>学校だより(3月号)で保護者宛てに公表するとともに、2月中旬にホームページ上にアップする。なお、アンケート結果に加え、学校関係者評価の結果及び学校評価のまとめについても公表する。</p>
------------------------------------	--

<p>領域</p>	<p>学校関係者評価の結果</p>	<p>学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善策)</p>
<p>学校経営</p>	<p>① 学校評価アンケートの保護者の回答率が高いのは素晴らしい。他の学校は8割ぐらいである。保護者は非常に熱心である。もっと学校の良さを発信すべきである。松尾高校の取組や雰囲気を知ることができるような機会を設けてほしい。</p> <p>② 保護者のアンケートで「子どもは、学校に行くのが楽しそうである」の肯定的な回答が多いのは素晴らしい。本当に良くできた学校である。松尾高校は町の誇りである。末永く立派な学校で、卒業生も立派だと言われる学校にしてほしい。</p> <p>③ SGHの取組について山武市も協力している。市役所で課題研究の成果発表を行ったが大変よくできていた。山武市は、地方創生に松尾高校を中心に取り組んでいる。今後も学校と協力していきたい。</p>	<p>① SGHの取組をホームページで発信するとともに、新聞等に取り上げられるように積極的に広報活動を行う。</p> <p>② 職員に学校経営ビジョンを明確に示すとともに、保護者にSGHの取組についてプリントを配付し、ホームページを充実させ理解が深まるように努める。</p> <p>③ SGHの取組を進めるため、大学や山武市との連携を一層充実させていく。また、既存の行事を精選し、充実した取組となるように努める。</p>
<p>学習指導</p>	<p>① 「進路指導について、先生方は熱心に指導してくれる」と多くの生徒が答えているのに、「先生方は、授業を工夫し、わかりやすく指導してくれる」が昨年よりも少なくなっている。</p> <p>② 授業を参観したが、授業が大変充実していた。生徒は熱心に授業を受けていた。</p> <p>③④ ここ2年ぐらい学校が良くなったとよく聞く。学力も向上したと聞いている。外から見てもそのように感じている。</p>	<p>① 生徒のニーズや特性に合わせた指導について、全職員を対象に研修を行なう。</p> <p>② SGHとして来年度も多くの視察を受け入れ、公開授業等を実施する。そして、本校が取り組んでいる課題研究や学び直し、英語教育など、先進的な取組を全県下に普及させていく。</p> <p>③ 今年度の成果を踏まえ、生徒一人一人の習熟度に合わせた学び直しのカリキュラムを開発していく。</p> <p>④ 定期的にルーブリックを活用した学習評価を実施し、生徒の変容を数値で示していく。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>① 駅前に住んでいるので、毎日生徒と挨拶を交わしている。</p> <p>③ 3年間松尾高校に通う中で、松尾を第2の故郷と考えて、商店を潤すような生徒をつかってほしい。</p>	<p>① 来年度も引き続き服装指導、登校指導、校外指導等を実施し、生徒指導の充実を図る。</p> <p>② 来年度も引き続き養護教諭とスクールカウンセラーを中心とした教育相談体制を整え、外部機関と連携し、教育相談の充実に取り組む。</p> <p>③ 地域の期待に応えるため、来年度も地域の清掃活動やボランティア活動に取り組み、生徒の道徳的意欲や実践力を高めていく。</p>

<p>キャリア教育</p>	<p>③ 今年度、市役所に久しぶりに松尾高校から、OBも含めて2名が内定した。活躍を期待している。</p>	<p>① S G Hの取組にキャリア教育の視点を加えて取り組んでいく。 ② S G Hの課題研究のために、1年生の生徒全員が病院や高齢者施設でフィールドワーク（インターンシップ）ができるように地域企業との連携をより密にする。 ③ 引き続き生徒一人一人に寄り添ってきめ細かく進路指導を行い、キャリア教育の充実に取り組んでいく。</p>
<p>特色ある教育活動</p>	<p>① 多くの生徒が活躍しているのを知って驚いた。S G Hの成果が出てきたが、これからもっと大変になると思う。生徒の発表する機会が増えることは良いことだと思う。地域の人たちにももっと成果を発信できる機会があると良い。</p>	<p>① S G Hの課題研究の成果を多くのコンテスト等に出品し、本校の取組を発信していく。 ② 高齢者福祉施設等との連携を図り、介護職員初任者研修等の資格取得を推進していく。 ③ 生徒数の減少にともない、部活動を充実させるため、部活動の精選に取り組んでいく。</p>